

9/15 午後

# 健保組合 40%が赤字

## 22年度 社員の保険料 年51万円

健康保険組合連合会（健保連）は14日、大企業の社員らが加入する全国138

03億円、高齢者医療への拠出金は6・7%減の3兆4057億円など。

3 健保組合の2022年度の決算見込みについて、40・4%に当たる559組合が赤字だったと発表した。

社員の保険料率は、平均で月収の9・26%だった。前年度から0・03㌽上昇し、過去最大となつた。

赤字組合の割合は前年度

の53・4%からは減少し

と見込む。

の53・4%からは減少した。ただ健保連の佐野雅宏副会長は「医療費が極めて高い伸びとなっており、大変厳しい状況に変わりはない」と指摘。保険料率の引き上げや、解散を検討する組合が出ることが懸念されると述べた。

22年度の組合全体の收支は、1365億円の黒字だった。収入は8兆6058億円で、つむぎ保険料は8兆4890億円。

支出は8兆4693億円だった。内訳は、保険給付費が5・7%増の4兆49

保険料は原則労使が折半する仕組み。社員1人当たりの年間保険料は、1万1977円増えて過去最大の51万1696円となつた。

23年度の收支は組合全体で3600億円の赤字になる

と見込まれたためと説明。「今後は増加する見通し」とした。

保険料は原則労使が折半する仕組み。社員1人当たりの年間保険料は、1万1977円増えて過去最大の51万1696円となつた。